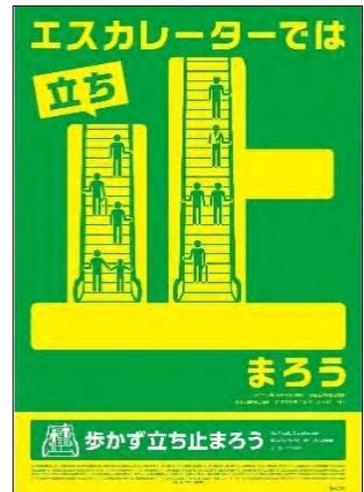


6.お客さま・沿線の皆さまへのご協力のお願い

■駅や車内でのマナー向上にご協力ください

駅や車内でのマナー向上はお客さまと鉄道事業者共通の願いであり、各社局それぞれでマナー向上に取り組んでおりますが、より効果的により多くのお客さまのご理解・ご協力をいただくため、鉄道事業者間で、または国等と連携してポスター等を製作・掲出し、ご協力をお願いしています。



目のご不自由なお客さま、お身体のご不自由なお客さまにも安心してご利用いただけるよう係員が可能な限りお声掛けや見守りを行っております。ご利用されるお客さまにおかれましても、ご協力をお願いします。

■「歩きスマホ」は危険です！！



スマートフォン等を操作しながらホーム上を歩くと、他のお客さまとの接触や転倒を惹き起こす原因となり、線路内への転落につながるおそれがありますので、歩きスマホはおやめください。

■ホーム端部の歩行は危険です！！



ホーム端部は、線路内への転落や電車との接触のおそれがあり大変危険です。できる限りホーム端から離れたところを歩行してください。また、電車が近づきましたら、ホーム上の黄線または白線の内側までお下がりください。

■ホーム上の点状ブロックの上に荷物等は置かないでください

ホーム上の点状ブロックは、目のご不自由なお客さまへの重要な誘導案内用施設です。この上に立ち止まったり、荷物等を置いたりしないようにご協力をお願いします。



■線路内へは絶対に入らないでください

線路内は大変危険です。
線路内へは絶対に立ち入らないようお願い
します。誤って線路内に物を落とされた場合
は、必ず駅係員にお知らせください。



■非常通報ボタンの設置駅では、異常時には同ボタンを押してください

ホームから線路内へ転落されたお客さまを
発見した場合、ホーム上に設置している非常
通報ボタンを押してください。ホーム上の表
示灯が点灯するとともに警報音が鳴動し、駅
係員および駅に接近してくる列車の運転士に
異常や危険を知らせることができます。



各種・非常通報ボタン

■電車内での異常時には非常通報装置で通報してください

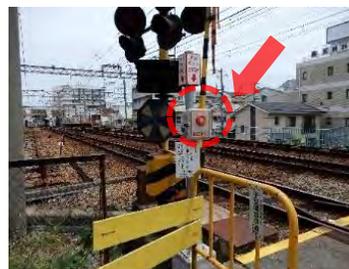
電車内で急病人や異常事態等が発生した場
合には、各車両に設置している非常通報装置
の通報ボタンを押して、運転士にお知らせく
ださい。



電車内の非常通報装置

■踏切非常通報押ボタンを設置した踏切道で異常を発見した場合、同ボタンを押してください

踏切道内で自動車が脱輪したり、通行者が
立往生した場合、ドライバーや通行人の方が
踏切非常通報押ボタンを押すことで、踏切道
に接近してくる列車に踏切内の異常や危険を
知らせることができます。



踏切非常通報ボタン

■交差点に近接する踏切道では一時停止し、必ず前方の安全を確認のうえ横断してください
■警報機が鳴り始めたら無理な横断はしないでください

交差点に近接する踏切道を
車で通行する際は、道路渋滞
等により踏切道前方に十分な
停車スペースがない場合があ
ります。必ず踏切道の手前で
一時停止し、その停車スペ
ースの有無を確認してから横断
してください。



全方位式踏切閃光灯



踏切手前の注意喚起看板

■踏切事故防止キャンペーンと全国交通安全運動(春・秋)における啓発活動

踏切事故は、車や通行者の直前横断・無謀通行に起因するものが多いため、事故を防ぐには踏切をご利用される皆さまのご協力が欠かせません。「踏切事故防止キャンペーン」を実施し、踏切に関するルール・マナーと安全通行のご協力を呼びかけ、注意喚起を行っています。



踏切事故防止キャンペーン



全国交通安全運動期間の啓発活動



■ご利用されるお客様へのお願い

●持ち込みを禁止する危険物についてご確認ください！

●ご乗車の際は、車内にある非常通報ボタンの設置位置をご確認ください！